

発行:敦賀市少年愛護センター

住所:敦賀市東洋町1番1号

電話:0770-23-0189 Fax:0770-23-0523

『青少年健全育成都市宣言』都市:敦賀市

いよいよ自転車青切符！

昨年度もお知らせしましたが、2024年4月に成立した改正道交法により、今年の4月1日から16歳以上の自転車の交通違反に反則金納付が求められるようになります。自動車を運転していて交通違反をした場合に警察官から手渡される交通反則切符、通称「青切符」が自転車の交通違反の場合も同じようになるわけです。

右が自転車の青切符対象違反の主なものと反則金額案（25年4月に警察庁が発表したもの）です。

携帯電話使用が12,000円と最も高額になっているのは、それだけ重大事故に繋がる恐れがあるということでしょう。「通行区分違反」は、自転車が通行可能かどうかは歩道によっても年齢によっても違いますから、かなり意識しておかないと罰金6,000円が課せられてしまう恐れがあります。「自転車制動装置不良」はブレーキが効かない自転車ということ。難しい言葉で書いてありますが、「公安委員会順守事項違反」というのは、イヤホンを付けて音楽を聴いていた

り、傘を差しながら運転したり、周りの状況を把握しにくい運転と判断されれば罰金5,000円。「軽車両乗車積載制限違反」は二人乗り、罰金3,000円。

ちなみに、令和6年の自転車関連事故の件数は、全国で67,531件。その内、人と自転車によるものは3,043件（正面からが843件、後ろからが648件、横断中に起こった事故が955件、その他597件）。また、福井県では、2022年7月1日から自転車保険への加入が義務化されていますが、ヘルメット着用は「努力義務」。ただ、自転車乗用中の交通事故で亡くなった方の約6割が頭部に致命傷を負っています。ヘルメットを着用していない場合の致死率は着用している場合に比べて約2.2倍高くなるという統計があり、ヘルメットは頭部へのケガのリスクを約70%減少させると言われています。

自転車運転を見直すこの機会に、自身にとっても他者にとっても危険から身を守り、みんなが幸せに暮らしていくために、今一度、我が子の自転車の安全利用について家族で話し合ってみてください。



青切符対象となる主な違反と反則金額案		
		2025.4.24
携帯電話使用（ながら運転）	12,000円	
遮断踏切立ち入り	7,000円	
信号無視	6,000円	
通行区分違反	6,000円	
指定場所一時不停止	5,000円	
自転車制動装置不良	5,000円	
公安委員会順守事項違反	5,000円	
軽車両乗車積載制限違反	3,000円	



親子のふれあい時間調査

シチズン時計が、令和7年3月、小学生の子どもを持つ共働き夫婦400組対象に「親子のふれあい時間」について調査した結果、「家族が一緒に過ごす時間の1日平均」は、平日2時間19分（2012年調査より41分減）、休日4時間19分（同70分減）となったとのこと。この10年ほどで親が仕事で忙しくなったのか、子どもが習い事や塾の時間が増えたのか。それとも、スマートフォン等によって親子がそれぞれの時間を過ごすようになったのか。いずれにせよ、親子の時間が減っているのはちょっと心配です。

さて、調査には「親子の会話時間」というものもあります。「一緒に過ごす時間」が減っているのも、当然、会話の時間も減ってしまいます。ただ、平日の母親との会話の減り方が父親よりも大きいのは、母親の忙しさが増している…ということでしょうか。

休日は両親とも子どもと一緒にいる時間が20分…2割ほど減少していますが、その時間の過ごし方というところ…。2012年と比べて「テレビ視聴」が26分、「ショッピング」18分、「スポーツ・遊び」11分、「食事」は食べる量が変わっているわけではないでしょうが14分も減少しています。「テレビ」よりもスマートフォン等で動画を見ることが多くなっているようですから、「家族みんなでテレビを見る」という風景がなくなりつつあることがこの数字からでも読み取れますね。「ショッピング」の減少はオンライン購買の影響でしょうか。

続いて、子どもが家庭でスマートフォン等を使っているのかを質問したところ、平日の1日平均が1時間59分…ほぼ2時間という結果。ただ、3時間以上利用している子どもが全体の23.0%と、長時間利用が心配な状況もあります。小学生の親子対象の調査であり、14.8%の「利用していない」には低学年が多いでしょうし、「3時間以上」の23.0%には高学年が多いこ



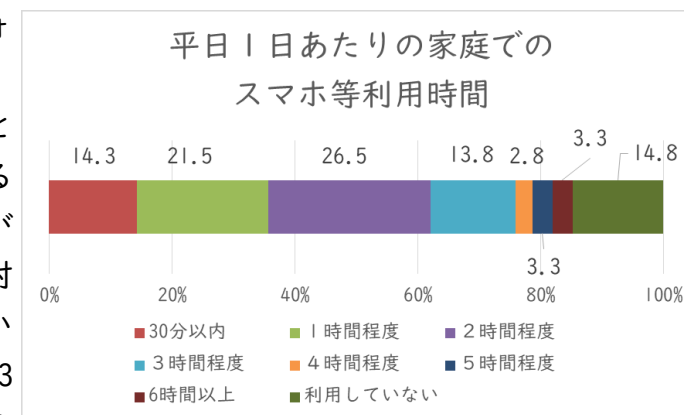
とでしょう。また、宿題や勉強にもスマートフォン等を使うケースも考えられるのですが、それは20.5%に留まり、主に「動画視聴」（62.2%）や「ゲーム」（58.4%）に使用しているようです。

子どもも親も忙しい毎日。でも、子どもと過ごす時間は人生の中では、ほんの僅かな時間です。子どもの将来のためにも、親としていろいろなことを学ばせたい、伝えたい、育みたいところ。そのためには、まずは一緒に居る時間をつくらなくてはなりません。一緒に居るための努力が必要な時代となっていますので、頑張りましょう。



	平日		休日	
	2012年	2025年	2012年	2025年
父親	54分	52分	2時間3分	1時間40分
母親	1時間55分	1時間34分	2時間27分	2時間3分

		休日（平均時間）	
		2012年	2025年
1位	テレビ視聴	1時間41分	1時間15分
2位	ゲーム	58分	1時間6分
3位	ショッピング	1時間19分	1時間1分
4位	食事	1時間14分	1時間
5位	スポーツ・遊び	1時間11分	1時間
6位	勉強	43分	46分



「スマホ斜視」という言葉を聞いたことがありますか？

急性内斜視はどの年代でも発症する可能性がある病気ですが、16歳をピークに中高生で最も多く発症しているそうです。急性内斜視というのは、通常真っすぐを向いている2つの目のうち、左右どちらかが内側に寄って視線がずれる症状のこと。視線がずれることによって、物が二重に見えたり、遠近感がわかりづらかったり、立体的に見えなかったり…。この状態を放置してしまうと、目が寄った状態が続き、片方の目で見ているものを脳が認識しなくなり、立体的に物を見ることができなくなってしまうそうです。生活に支障がでますから、手術が必要になるケースもあるんだとか…。

令和7年3月に公表されたこども家庭庁の調査では昨年度、子どもたちがスマートフォンなどインターネットを平日1日に利用した時間は小学校高学年で平均で約3時間44分、中学生で約5時間2分、高校生では約6時間19分。大人も相当な時間スマホを利用しているとは思いますが、大人よりも中高生の方が多く発症しているのは、子どもはなかなか症状を自覚できないことや、違和感を感じても「スマホの見過ぎ!」と叱られる可能性もあって訴えづらいということもあるのかもしれません。

急性内斜視になったかどうかは、少し離れた距離から文字などを見て、片目で見たら1つに見えるのに両目で見たら二重に見えてしまう、もしくは片目で見た方が見えやすいといった場合、その疑いがあるとのこと。また、子どもの両目を30cmくらいの距離からスマホのカメラでフラッシュ撮影して、白目の大きさが左右で違う場合や、フラッシュの白い点が黒目のほぼ真ん中になかった場合は、斜視の疑いがあるようです。



○11月4日（火）17:00～



A cartoon illustration of a young boy with black hair, wearing a green long-sleeved shirt and blue pants, riding a blue bicycle. He is smiling and looking towards the viewer. To his left is a red car. Inside the car, a man with a surprised or worried expression is visible, with his mouth wide open. The background is plain white.